



この正誤表は更新される場合があります。最新版はICBAの HP (<http://www.icba.or.jp/index/pdf/ybook2015seigo3.pdf>) でご確認下さい。

No.	ページ	行等 (Lは行数)	正	誤	備考																						
1	157	表3.6-3 溶接部の定義	 溶接金属(溶融母材+溶着金属)	 溶接金属(溶融母材+溶着金属)	H29/08/18追加																						
2	171~172		σ_{xx} (例) $\sigma_{y0} \sigma_{z0} E$	ζ_{xx} (例) $\zeta_{y0} \zeta_{z0} E$	H29/08/18追加																						
3	180	L2	最終改正 平成28年3月31日国土交通省告示第502号	最終改正 平成28年3月17日建設省告示第502号	H29/07/28追加																						
4	182~195	右頁のヘッダー	3.7 鉄筋コンクリート造(令第71条~令第79条)	3.7 鉄筋コンクリートの強度(令第74条)	H29/8/3追加																						
5	261	L14	$Cs_f \geq 0.3Z \left(1 - \frac{h_f}{h} \right)$	$\geq 0.3 \left(1 - \right)$	H29/8/3追加																						
6	282	表	<table border="1" data-bbox="359 459 694 571"> <tr> <td>HがZ_b以下の場合</td> <td>$E_r = 1.7 \left(\frac{Z_b}{Z_g} \right)^a$</td> </tr> <tr> <td>$H$が$Z_b$を超える場合</td> <td>$E_r = 1.7 \left(\frac{H}{Z_g} \right)^a$</td> </tr> </table>	H が Z_b 以下の場合	$E_r = 1.7 \left(\frac{Z_b}{Z_g} \right)^a$	H が Z_b を超える場合	$E_r = 1.7 \left(\frac{H}{Z_g} \right)^a$	<table border="1" data-bbox="821 459 1157 571"> <tr> <td>HがZ_b以下の場合</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>HがZ_bを超える場合</td> <td>—</td> </tr> </table>	H が Z_b 以下の場合	—	H が Z_b を超える場合	—	H29/08/03追加														
H が Z_b 以下の場合	$E_r = 1.7 \left(\frac{Z_b}{Z_g} \right)^a$																										
H が Z_b を超える場合	$E_r = 1.7 \left(\frac{H}{Z_g} \right)^a$																										
H が Z_b 以下の場合	—																										
H が Z_b を超える場合	—																										
7	291	下表	<table border="1" data-bbox="359 582 790 728"> <tr> <td>HがZ_b以下の場合</td> <td></td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">HがZ_bを超える場合</td> <td>ZがZ_b以下の場合</td> <td>$\left(\frac{Z_b}{H} \right)^{2a}$</td> </tr> <tr> <td>$Z$が$Z_b$を超える場合</td> <td>$\left(\frac{Z}{H} \right)^{2a}$</td> </tr> <tr> <td colspan="3">この表において、Z_b及びaは、それぞれ次の数値を表すものとする。 Z_b 第1第2項の表に規定するZ_bの数値 a 第1第2項の表に規定するaの数値</td> </tr> </table>	H が Z_b 以下の場合		1.0	H が Z_b を超える場合	Z が Z_b 以下の場合	$\left(\frac{Z_b}{H} \right)^{2a}$	Z が Z_b を超える場合	$\left(\frac{Z}{H} \right)^{2a}$	この表において、 Z_b 及び a は、それぞれ次の数値を表すものとする。 Z_b 第1第2項の表に規定する Z_b の数値 a 第1第2項の表に規定する a の数値			<table border="1" data-bbox="805 582 1252 728"> <tr> <td>HがZ_b以下の場合</td> <td></td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">HがZ_bを超える場合</td> <td>ZがZ_b以下の場合</td> <td>$\left(\frac{Z_b}{H} \right)^a$</td> </tr> <tr> <td>$Z$が$Z_b$を超える場合</td> <td>$\left(\frac{Z}{H} \right)^a$</td> </tr> <tr> <td colspan="3">この表において、Z_b及びaは、それぞれ次の数値を表すものとする。 Z_b 第1第2項の表に規定するZ_bの数値 a 第1第2項の表に規定するaの数値</td> </tr> </table>	H が Z_b 以下の場合		1.0	H が Z_b を超える場合	Z が Z_b 以下の場合	$\left(\frac{Z_b}{H} \right)^a$	Z が Z_b を超える場合	$\left(\frac{Z}{H} \right)^a$	この表において、 Z_b 及び a は、それぞれ次の数値を表すものとする。 Z_b 第1第2項の表に規定する Z_b の数値 a 第1第2項の表に規定する a の数値			H29/08/03追加
H が Z_b 以下の場合		1.0																									
H が Z_b を超える場合	Z が Z_b 以下の場合	$\left(\frac{Z_b}{H} \right)^{2a}$																									
	Z が Z_b を超える場合	$\left(\frac{Z}{H} \right)^{2a}$																									
この表において、 Z_b 及び a は、それぞれ次の数値を表すものとする。 Z_b 第1第2項の表に規定する Z_b の数値 a 第1第2項の表に規定する a の数値																											
H が Z_b 以下の場合		1.0																									
H が Z_b を超える場合	Z が Z_b 以下の場合	$\left(\frac{Z_b}{H} \right)^a$																									
	Z が Z_b を超える場合	$\left(\frac{Z}{H} \right)^a$																									
この表において、 Z_b 及び a は、それぞれ次の数値を表すものとする。 Z_b 第1第2項の表に規定する Z_b の数値 a 第1第2項の表に規定する a の数値																											
8	310	(1)式	$Q_a + Q_{FN} \leq \frac{Q_p + Q_{FP}}{1.2}$	—	H29/8/3追加																						
9	310	(2)式	$\frac{Q_a + Q_{FN}}{A_p} \leq \sigma_F$	$\frac{+Q}{A_p}$	H29/8/3追加																						
10	311	(5)式	$\bar{qf} = \bar{qu}/2$	$\bar{qf} = -/2$	H29/8/3追加																						
11	311	(8)式	$re = \left(\frac{D\bar{qfn}}{\bar{r}} + \frac{D^2}{4} \right)^{1/2}$	$re = \left(\frac{---}{\bar{r}} + --- \right)^{1/2}$	H29/8/3追加																						
12	311	(8)式の下L4	\bar{qfn} :負の摩擦力度の・・・	— :負の摩擦力度の・・・	H29/8/3追加																						
13	311	(8)式の下L6	・・・(6)式は $60 + 2\bar{N}$ (kN/m ²)・・・	・・・(6)式は $60 + 2^-$ (kN/m ²)・・・	H29/8/3追加																						
14	311	(10)式	$Q_p = 0.7\bar{qc}A_p$	$Q_p = 0.7^-A_p$	H29/8/3追加																						
14	671	下L2	また、(5)⑥a)の・・・(付1.3-41)式を用いて算定することができる。	また、(5)⑥a)の・・・(付1.3-40)式を用いて算定することができる。	H29/07/28追加																						